

# NWQグローバル厳選証券 (米国株プラス) 毎月分配型 (愛称：ダブルチャンス)

&lt;2764&gt;

追加型投信／内外／資産複合  
日経新聞掲載名：Wチャンス

第43期	2023年4月17日決算	第46期	2023年7月18日決算
第44期	2023年5月17日決算	第47期	2023年8月17日決算
第45期	2023年6月19日決算	第48期	2023年9月19日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、実質的に、世界の米ドル建資産に投資を行なうとともに、米国株価指数の先物取引を活用することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第48期末	基準価額	11,629円
	純資産総額	106百万円
第43期～第48期	騰落率	18.8%
	分配金合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0276420230919◇

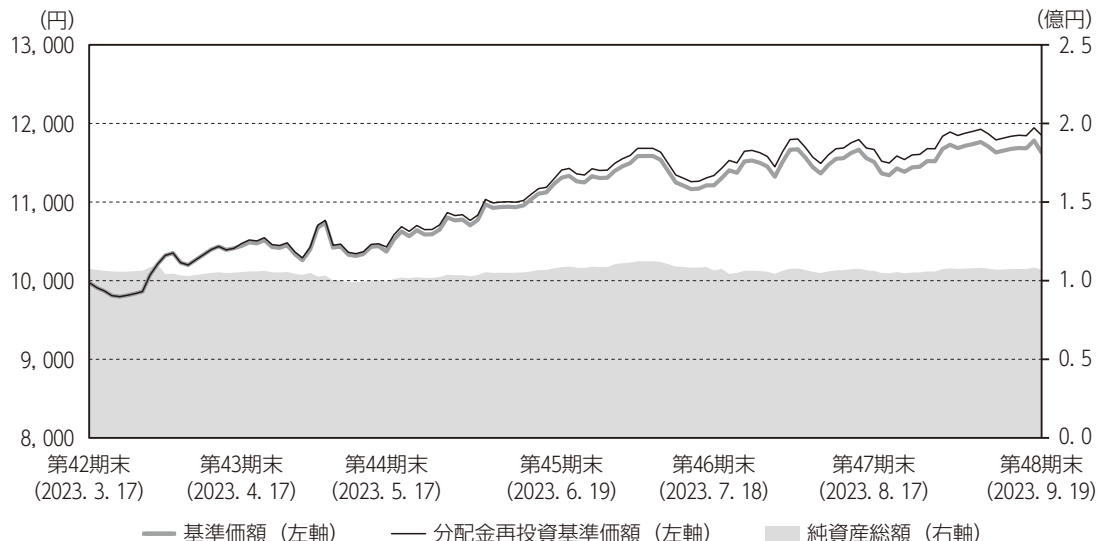
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第43期首：9,975円

第48期末：11,629円（既払分配金210円）

騰落率：18.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の変動要因

パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリ

オス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）に投資した結果、ハイイールド債券や株式などの上昇、米ドル円為替相場の上昇（円安）がプラス要因となったほか、S & P 500指数先物の上昇もプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第43期～第48期 (2023. 3. 18～2023. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.572%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,981円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.167)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.034	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0.606	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

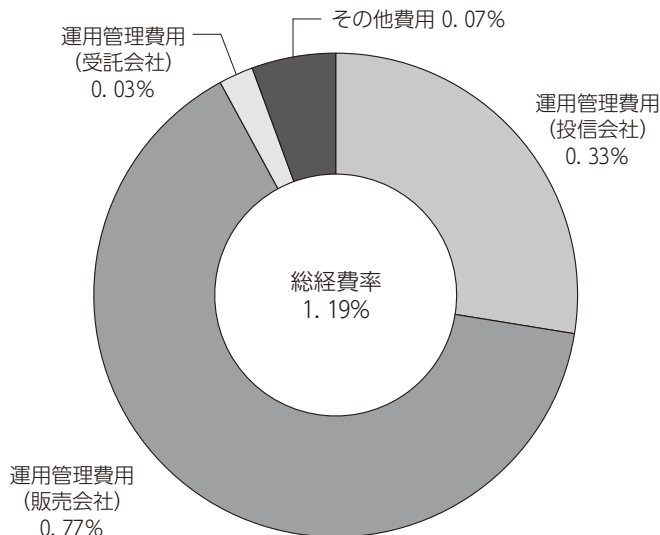
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.19%です。



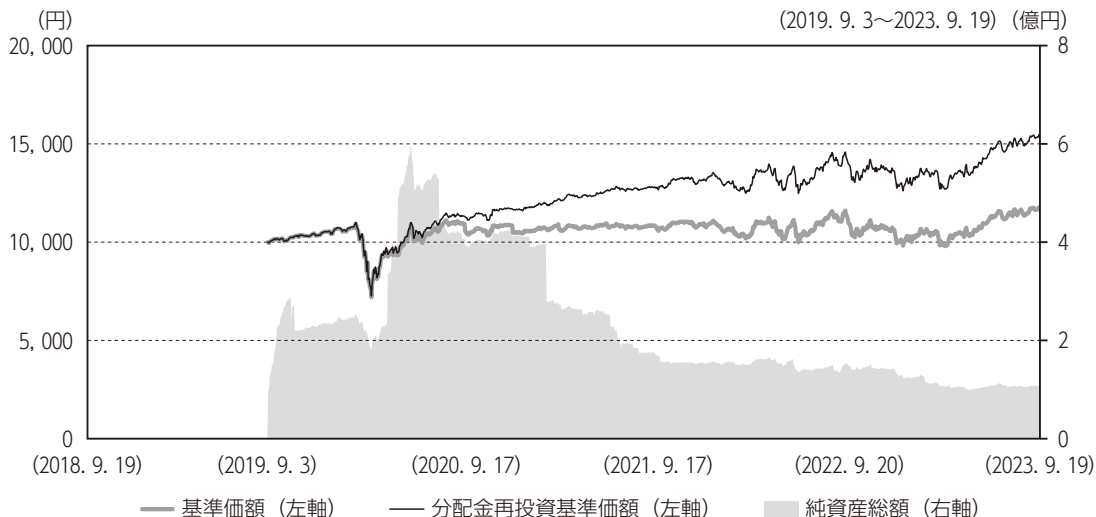
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。  
純資産総額に対して年率0.83%（税込）程度、その他各種費用等

## 最近5年間の基準価額等の推移について



	2019年9月3日 設定	2020年9月17日 決算日	2021年9月17日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,537	10,676	10,971	11,629
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	720	1,200	660	390
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	12.9	13.3	9.2	9.9
純資産総額 (百万円)	100	391	169	148	106

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

(2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19)

### ■海外金融市況

海外金融市場では、国債金利が上昇（債券価格は下落）したものの、投資適格社債は横ばい、ハイイールド債券や株式は堅調に推移しました。

海外株式市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で 사용되는半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやFRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感され、月末にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ停止への期待が高まった一方、全米自動車労働組合のストライキ入りなど強弱材料が入り混じり、一進一退で推移しました。

海外債券市場は、当作成期首より、強弱入り混じる経済指標の結果などから方向感のない展開となりましたが、2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の金融引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。当作成期末にかけては、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。

### ■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、2023年4月末にかけては、次回のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落（円高）しまし

た。その後当作成期末にかけては、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19)

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持しました。

同債券は、実質的にケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジーヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（無分配クラス）（以下、「フレキシブル・インカム・ファンド」といいます。）に投資するとともに、S & P 500指数先物を対象としたスワップ取引を通じて、米国株価指数先物に対する投資効果を楽しみます。S & P 500指数先物ポジションは、以下のルールに基づいた「逆張り戦略」にて構築されました。

2019年9月3日（当ファンド設定日）以降のS & P 500指数（配当込み）の最高値から前営業日までの下落率を日々計測し、S & P 500指数先物の組入比率が決定されます。

- ・最高値からの下落率が5%に満たない場合、組入比率は0%です。
- ・最高値からの下落率が5%以上になった場合、当該下落率の2倍程度に相当する組入比率となります。
- ・以降、最高値からの下落率が拡大した場合、日々、当該下落率の2倍程度に相当する組入比率に調整されます（組入比率の上限は100%です。）。
- ・株価が反転しても過去の最高値に達するまで、先物の組入比率は維持されます。
- ・過去の最高値に達した場合、先物取引は解消され、組入比率は0%となります。

当作成期首において、S & P 500指数先物の実質目標組入比率は48.9%程度でした。その後S & P 500指数（配当込み）は上昇したものの、最高値は更新していないため、同程度の目標組入比率で当作成期末を迎えました。

#### （ご参考）フレキシブル・インカム・ファンドの組入上位銘柄

銘柄名	資産名	比率
HP ENTERPRISE 6.35 10/15/45	投資適格社債	2.5%
JPMORGAN CHASE 6 3/4 PERP	優先証券	1.7%
EMERA INC 6 3/4 06/15/76	非投資適格社債	1.6%
VIACOM INC 6 7/8 04/30/36	投資適格社債	1.5%
GENERAL MOTORS C 6.6 04/01/36	投資適格社債	1.4%
CELANESE US HLDS 6.165 07/15/27	投資適格社債	1.3%
AMGEN INC 4 7/8 03/01/53	投資適格社債	1.2%
MCDONALD'S CORP 4 7/8 12/09/45	投資適格社債	1.2%
TRIPADVISOR INC 7 07/15/25	非投資適格社債	1.2%
REGAL REXNORD 6.4 04/15/33	投資適格社債	1.2%

（注1）上記データは2023年8月31日現在のものです。

（注2）比率はフレキシブル・インカム・ファンドの純資産に対する比率です。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2023年3月18日 ～2023年4月17日	2023年4月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月17日	2023年8月18日 ～2023年9月19日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	60
対基準価額比率 (%)	0.29	0.29	0.26	0.27	0.26	0.51
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	60
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,394	2,403	2,423	2,433	2,455	2,496

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.31円	✓ 39.38円	✓ 49.52円	✓ 39.63円	✓ 52.42円	✓ 80.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.63
(c) 収益調整金	1,001.30	1,002.21	1,002.99	1,017.26	1,031.37	1,032.67
(d) 分配準備積立金	1,377.87	1,392.27	1,400.88	1,406.14	1,401.68	1,422.85
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,424.49	2,433.87	2,453.39	2,463.05	2,485.49	2,556.79
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,394.49	2,403.87	2,423.39	2,433.05	2,455.49	2,496.79

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

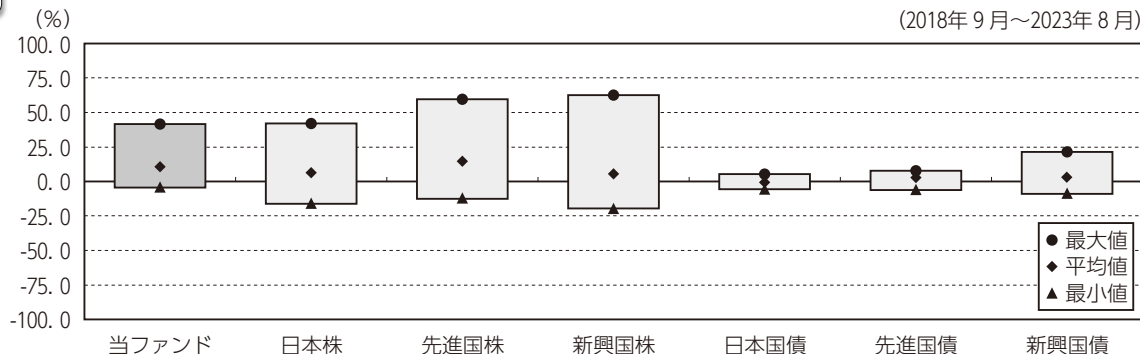


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2019年9月3日～2024年9月17日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「パフォーマンス連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、パフォーマンス連動債券への投資を通じて、実質的にケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（無分配クラス）」（以下「フレキシブル・インカム・ファンド」といいます。）に投資するとともに、実質的にS &amp; P 500指数の先物取引を活用することにより、信託財産の成長をめざして運用を行いません。</p> <p>※フレキシブル・インカム・ファンドは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざすファンドです。</p> <p>②パフォーマンス連動債券を通じた実質的な組入比率は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレキシブル・インカム・ファンド：信託財産の純資産総額の100%程度</li> <li>・S &amp; P 500指数の先物取引：信託財産の純資産総額の0%～100%程度</li> </ul> <p>※S &amp; P 500指数（配当込み）の下落に応じて先物取引の実質的な組入比率を引き上げることにより、リバウンド局面で高いキャピタル・ゲインの獲得をめざします。</p> <p>③パフォーマンス連動債券の組入比率は、通常の状態を高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。3月、6月、9月、12月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配を行なう場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1、第2および第3計算期末には、収益の分配は行ないません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	10.8	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2
最小値	△ 4.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



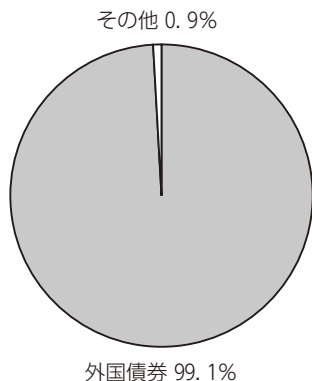
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

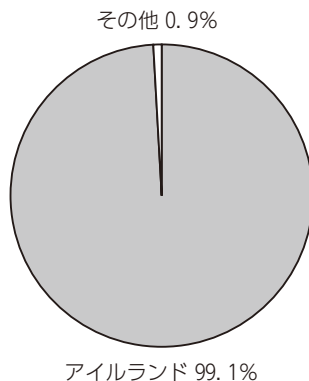
### 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Star Helios Plc - floating - 2024/8/23	アメリカ・ドル	99.1%
組入銘柄数	1銘柄	

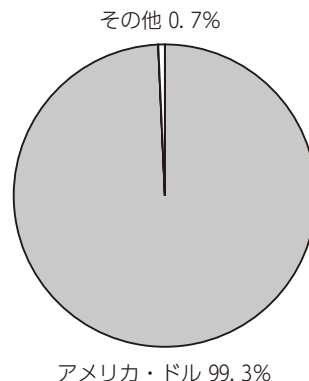
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年9月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2023年4月17日	2023年5月17日	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月17日	2023年9月19日
純資産総額	105,427,632円	99,562,662円	108,644,233円	106,537,155円	106,220,807円	106,949,775円
受益権総口数	100,961,199口	96,022,074口	96,045,022口	95,017,239口	92,283,283口	91,964,228口
1万円当り基準価額	10,442円	10,369円	11,312円	11,212円	11,510円	11,629円

\* 当作成期間（第43期～第48期）中における追加設定元本額は2,185,222円、同解約元本額は17,982,838円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。